

気まぐれ通信

平成26年 12月17日号 第50号

発行者 有限会社津口ファーム鶏卵部
広島県世羅郡世羅町津口 711

創刊 50号達成

普通なら創刊50号記念と称して特別記念号を発行するのではあるが、文才もなくごく普通に通過させていただきます。それにしてもよく50号も続いたと筆者自身驚きであります。気まぐれ通信と言う名のごとく気まぐれに発行開始したのが平成17年6月25日号、実に9年と半年かかっている。

創刊号の挨拶を振り返ってみましょう！

創刊にあたって「ひとこと」

社長 門田 和晴

梅雨の季節なのに、こんなに雨が降らないのはめずらしく農作物にも影響が出てはこないか心配になっちゃいます。皆様のところでは、いかがでしょうか。日頃は、当社のたまごをご愛用頂き誠にありがとうございます。従事者一同感謝致しております。

さて、創刊にあたりひとこと挨拶をさせていただきます。前々からこちらの情報を発信して

いく機関紙を作りたいと思いつながらなかなか作る自信がありませんでした。勿論、今の今でも継続できるか不安です。従いましてプレッシャーの中での制作は、おそらく長続きしないでしょうから表題の通り「気まぐれ通信」という安易な方向に走って、出来るときに作るというスタンスをとって出来るだけ継続していきたいと思っております。どんな通信のものになるか、とりあえず創刊スタートさせていただきます。

本人も長続きはしないと初めから語っておりましたが、ここまで続くとは創刊当時は思っておりませんでした。気まぐれというスタンスが継続できた要因だと思えます。

今年もあとわずか！

社内忘年会を行いました。



9年前の写真



卵の本の紹介



以前「卵は最高のアンチエイジング」という本を紹介いたしました。それとよく似た本がありました。「卵を食べれば全部よくなる」著者は、佐藤智春さん、自らの健康管理の為に分子栄養学を学ばれ血液栄養診断士の資格を取得されています。私たちの健康管理の方向性をこの本から読みとって実践してもらえたら嬉しいとコメントされています。

内容は、5章に分かれています。各章の項目は
1. 卵はスーパーフード
2. コレステロールに関する大誤解
3. 年代別で変わる、卵を食べる意味
4. こんな悩みは、全部卵で解決
5. からだによく効く、卵の食べ方
3章の見出しは面白そうなので次号以降紹介しようと思っています。

【本の帯に記載されている事項】

- 不足しがちな動物たんぱく質が簡単にとれる。
- からだを作る根幹はたんぱく質、脳も骨も血もよみがえる。
- コレステロールは体に必要な物質、良質な卵から。
- 若返り&リフレッシュ、さらにダイエット効果も。
- 消化がよく、幼児から高齢者まで誰でも簡単に食べられる。

【編集後記】

年末のあわただしさを日増しに感じるこの頃、日本全土を襲った寒波でここ世羅も雪がしっかり振りました。道路も圧雪でのろのろ運転で通勤時間もいつもの倍以上かかりました。今年も残り少なくなりましたが、健康管理に気を付け清々しい新年をお迎え下さい。来年もよろしくお願ひします。